

# 令和4年度 事業概要

## 豊川



国土交通省 中部地方整備局  
豊橋河川事務所  
令和4年4月

# 豊川の概要

豊川は、その源を愛知県北設楽郡設楽町の段戸山に発し、山間渓谷を流れて当貝津川、巴川等の支川を合わせて南下し、愛知県新城市長篠地先で宇連川と合流し、その後、豊橋平野で宇利川、間川等の支川を集めた後、三河湾に注ぐ幹川流路延長77km、流域面積724km<sup>2</sup>の一級河川です。

|          |      |                           |
|----------|------|---------------------------|
| 源        | 流    | 段戸山(1,152m)               |
| 流域面積     |      | 724km <sup>2</sup>        |
| 幹川流路延長   |      | 77km                      |
| 流域内人口    |      | 約22万人(下流部に67%が集中)         |
| 年間降水量    |      | 1,800~2,400mm             |
| 整備計画目標流量 |      | 石田 4,650m <sup>3</sup> /s |
| 河道整備流量   |      | 石田 4,100m <sup>3</sup> /s |
| 既往著名洪水流量 | 戦後最大 | 昭和44年8月洪水(台風7号)           |
|          |      | 石田 4,600m <sup>3</sup> /s |
|          | 平成最大 | 平成23年9月洪水(台風15号)          |
|          |      | 石田 4,000m <sup>3</sup> /s |



流域圏とは「流域及び関連する水利用地域や氾濫原を含む一体的な地域」と定義しています。

# 令和4年度の事業方針

## 1. 洪水被害を防止・軽減する治水対策 【水防災、改修、緊急対策】

令和4年度は、4霞地区における築堤のための用地取得等及び暮川地区における事前対策等を継続して実施します。また、気候変動に伴い激甚化、頻発化する自然災害を踏まえた流域治水対策を推進するため、重点的・集中的に実施します。

- (1) 豊川水防災サミット、水防災の取組み
- (2) 霞堤地区の浸水被害の軽減へ向けた取組み
- (3) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策及び流域治水対策の推進

## 2. 良好な河川環境の保全と創出 【環境】

豊川流域が有する多様な生態系、良好な河川環境を保全し、豊かな自然のある豊川を目指した整備を進めます。

- (1) 豊川自然再生事業

## 3. 着実な維持管理 【維持管理】

災害時に備えて平素から巡視や点検等を行うとともに、地域住民の憩いと安らぎの場として快適な豊川となるよう、維持管理計画に基づき計画的な維持管理を行います。

- (1) 治水機能の維持や安心して快適な河川の利用を支える日常的な維持管理
- (2) 老朽化した河川管理施設の補修
- (3) 流水の正常な機能維持と増進
- (4) 地域と協働した効率的な河川管理の推進

## 4. 災害・事故に対する危機管理体制の強化 【防災・減災、地域支援】

大規模出水や地震等が発生した際に被害を最小限とするとともに、早期復旧を実現するためにソフト・ハード両面から対策を講じます。

- (1) 災害・事故に対する危機管理体制の強化
- (2) 被災している地域への支援

## 5. 流域全体で水害を軽減させる治水対策 【流域治水】

気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策を推進していきます。

## 6. 地域住民との交流及び地域との連携・協力 【地域交流・地域連携】

地域のニーズを把握し、活力ある地域づくりを進めるため、地域と国、住民と行政とのコミュニケーションを深めていきます。

また、地域社会の持続的発展に向けた取組を推進していきます。

# 令和4年度 豊川事業費の概要

単位：千円

| 項目                   | R3         |             |           | R4         | 備考 |
|----------------------|------------|-------------|-----------|------------|----|
|                      | R3<br>(当初) | R3<br>(補正等) | 計         | R4<br>(当初) |    |
| 河川整備事業費              | 1,156,136  | 485,000     | 1,641,136 | 1,122,847  |    |
| 河川改修費                | 423,000    | 196,000     | 619,000   | 390,000    |    |
| 河川維持<br>修繕費          | 621,885    | 289,000     | 910,885   | 594,445    |    |
| 堰堤維持費                | 103,251    | —           | 103,251   | 118,402    |    |
| 河川工作物関連<br>応急対策事業費   | 8,000      | —           | 8,000     | 20,000     |    |
| 都市水環境整備事業<br>費       | 89,000     | —           | 89,000    | 52,800     |    |
| 総合水系環境整<br>備事業費      | 89,000     | —           | 89,000    | 52,800     |    |
| 総合流域防災事業費            | —          | 38,500      | 38,500    | 38,500     |    |
| 総合流域防災対<br>策事業費      | —          | 38,500      | 38,500    | 38,500     |    |
| 受託工事費                | —          | —           | —         | —          |    |
| 受託工事費                | —          | —           | —         | —          |    |
| 災害復旧事業費              | —          | 45,362      | 45,362    | —          |    |
| 河川等災害<br>復旧費<br>(3災) | —          | 45,362      | 45,362    | —          |    |
| 合計                   | 1,245,136  | 568,862     | 1,813,998 | 1,214,147  |    |

※河川整備事業費及び都市水環境整備事業費は業務勘定を除く。

※R4受託工事費は見込み額を記載。

# 工事実施箇所位置図

流域位置図



**② 豊川管内維持掘削工事**  
河道内堆積土砂の撤去を行います。(R3補正)

**⑤ 豊川上流部堤防維持管理修繕工事**  
堤防除草、維持修繕、ゴミ・流木処理を行います。

**松原地区：災害復旧工事**  
洪水で被災を受けた護岸の復旧工事を行います。(R3翌債)

**震地区：用地取得**  
震地区の築堤工事に向けた用地取得を実施します。

**豊川管内：情報通信設備整備工事**  
DXに対応する通信設備を整備します。(R3補正を含む)

**① 牛川地区：整備工事**  
浸透対策を実施し、堤防の強化を行います。(R3補正含む)

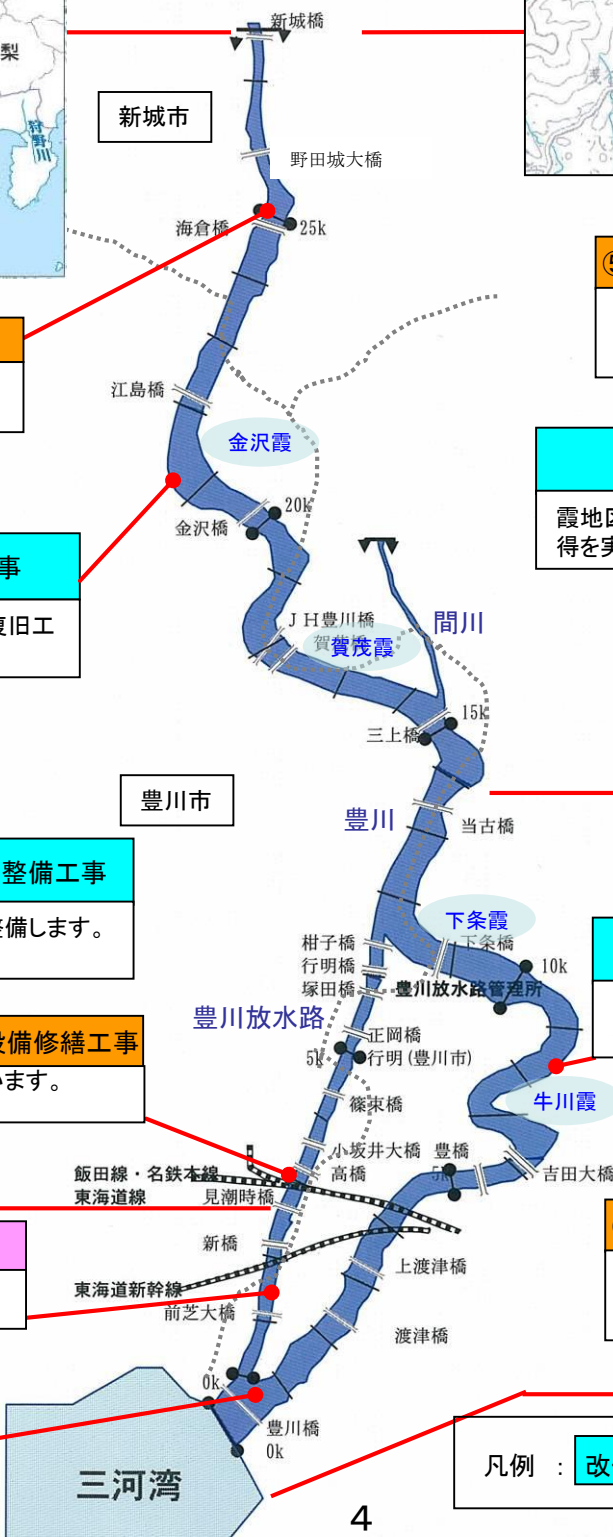
**⑦ 豊橋河川管内排水機場設備修繕工事**  
排水ポンプの分解整備を行います。(R3補正)

**④ ヨシ原再生工事**  
ヨシ原の再生を行います。

**⑥ 豊川下流部堤防維持管理修繕工事**  
堤防除草、維持修繕、ゴミ・流木処理を行います。

**③ 河口干潟再生工事**  
河口干潟の再生を行います。

凡例：  
改修
維持
受託
災害
環境



# 1. 洪水被害を防止・軽減する治水対策【水防災、改修、緊急対策】

## (1) 豊川水防災サミット、水防災の取組み

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」の再構築のために、豊川では豊川水防災サミットを設置するとともに、『「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく豊川の減災に係る取組方針』を策定し、ハード・ソフト対策を国・県・市町が一体的・計画的に推進しています。

「逃げ遅れゼロ」に向けたソフト対策の取組としては、豊川の歴史、自然、防災知識の普及、危機管理型水位計の運用、事前の防災行動計画（タイムライン）の策定運用を推進し、「社会経済被害の最小化」を目指したハード対策の取組としては、洪水氾濫を未然に防ぐための堤防の強化、水防活動の強化、河川防災ステーション及び防災拠点の検討等を行います。

### 危機管理型水位計の運用

洪水時のみの水位観測に特化した水位計（危機管理型水位計）を設置・運用し、避難勧告等の発令や避難に役立つ水位情報を提供します。

### 歴史、自然、防災知識の普及に関する取組

学校と連携して防災教育に関する支援を実施するため、指導計画の作成支援を進めます。



危機管理型水位計イメージ

水はどこから?

できること?

は、たくさんの人たちが  
たけど、  
とがないから?

○確認しておこうハザードマップ

豊川市（全域）ハザードマップ

◆わたしたちにもできる水害へのそなえ  
・ふだんの生活の中から気を付けることで『水害へのそなえ』はわたしたちでもできる。

防災教育ツール（教材イメージ）

# (2) 霞堤地区の浸水被害の軽減へ向けた取組み

## ●事業の目的

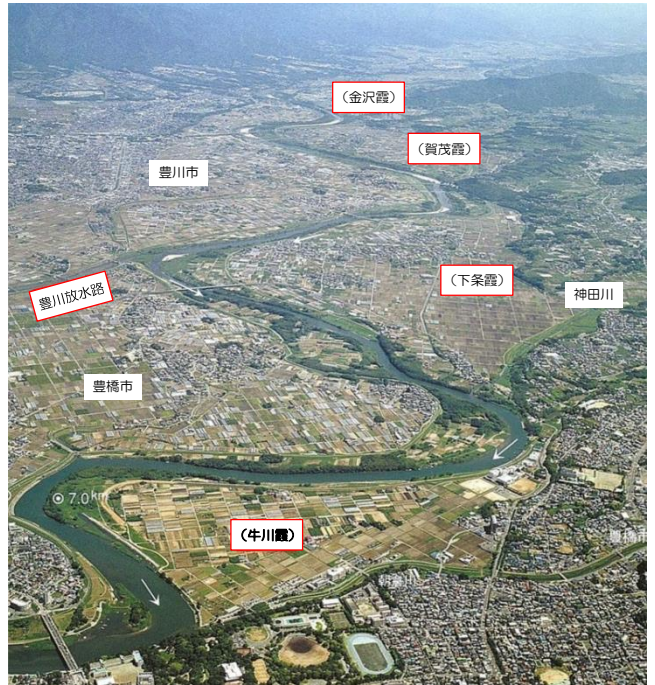
牛川霞堤地区・下条霞堤地区・賀茂霞堤地区・金沢霞堤地区の浸水被害の軽減を図ることを目的に、ハード・ソフト対策について検討します。関係機関や地元と調整し、対策を進めます。

## ●令和4年度の実施内容

平成28年度に策定した「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画」に基づき、ソフト対策として、簡易水位計や浸水周知の回転灯の設置・運用等を、ハード対策として、小堤及び排水樋管の設計を実施するとともに、必要な用地取得を進めます。



簡易水位計・回転灯 イメージ



霞堤地区を含む豊川遠景

**牛川霞堤地区 防災情報ポータル**

**雨量の分布、川の水位、ライブカメラ画像をまとめて見る**

4つの画面で、雨量、川の水位、ライブカメラ画像を同時に見ることができます。

- 雨量の分布、川の水位、ライブカメラ画像を同時に見る

**過去の洪水の様子を知る**

過去の洪水時に浸水したおよその範囲を確認できます。

- 近年の洪水の最大浸水範囲 (H15洪水・H16洪水・H23洪水)

浸水シミュレーションによる主な洪水規模の浸水範囲 (堤防決壊しない場合)を確認できます。

- S44洪水規模による浸水範囲の時間変化
- H23洪水規模による浸水範囲の時間変化

**牛川霞堤地区周辺の川の水位を見る**

現在の川の水位と現在までの水位の時間変化を見ることができます。

- 当古
- 牛川霞堤地区周辺の他の地点も見たい

**様々な雨の時の洪水の様子を知る**

洪水時に豊川・豊川放水路が氾濫した場合のシミュレーションによる洪水浸水想定区域※を確認できます。

- 150年に1度の規模の降雨による洪水浸水想定区域
- 想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域

※洪水浸水想定区域は、堤防決壊する場合の複数のシミュレーション結果を重ね合わせて作成したものです。

**カメラで川の様子を見る**

現在の川の画像が10分おきに更新されます。

- 霞堤地区内の様子
- 霞堤地区開口部の様子
- 霞堤地区近くの豊川の様子
- 牛川霞堤地区周辺の他の地点も見たい

霞堤地区の防災情報ポータルサイト

### (3) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策及び流域治水対策の推進

#### ●事業の目的

豊川水防災サミットにて推進する、『「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく豊川の減災に係る取組方針』に係るハード対策として、「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」を実施し、早期の治水安全度の向上を図ります。また、気候変動に伴い激甚化、頻発化する自然災害を踏まえた流域治水対策を推進するため、重点的・集中的に実施します。

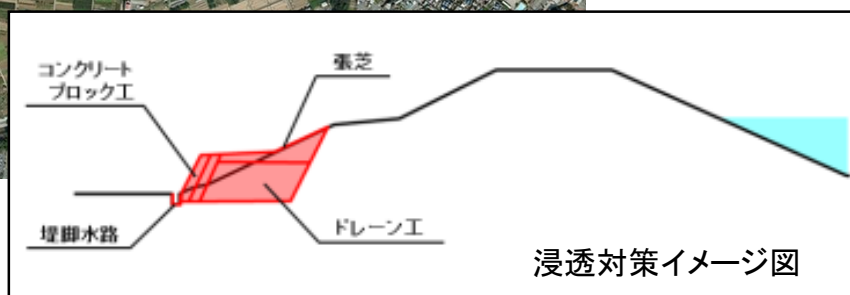
#### ●令和4年度の実施内容

- ① 豊川牛川地区整備工事（浸透対策）
- ② 豊川管内維持掘削工事

あわせて、霞堤地区の用地取得、構造物の設計等を行います。

#### ●令和4年度の実施箇所

- ① 豊橋市牛川地区において堤防の強化工事（浸透対策）を行います。





② 新城市野田地区において河道掘削を実施し、流下能力の回復を図ります。



# 2. 良好な河川環境の保全と創出

## 【環境】

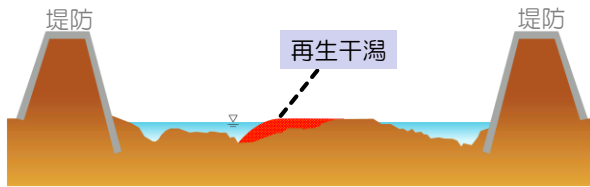
### (1) 豊川自然再生事業

豊川のかつての良好な自然環境を再生し、より良い三河湾につなげるために、河口干潟やヨシ原の再生に取り組んでいます。

なお、施工した河口干潟とヨシ原は、モニタリング調査を実施するなど保全にも配慮します。

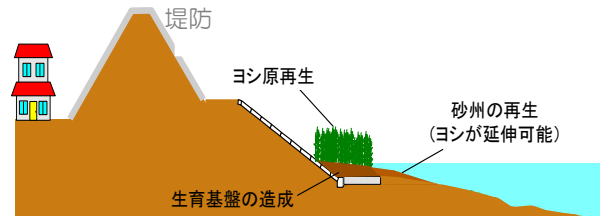
#### ●令和4年度の実施内容

##### ③ 河口干潟再生工事



干潟面積が拡大し、渡り鳥やアサリ等の貝類等、多様な生物が生息しやすい環境となります。

##### ④ ヨシ原再生工事



水際のヨシ原が再生し、オオヨシキリ等の多様な生物が生息しやすい環境になります。



豊川流域圏自然再生検討会



モニタリング調査のようす

#### ・河口干潟の再生



再生した干潟に飛来する鳥類 (R3.10)

#### ・ヨシ原の再生



再生前 (H17.12)

再生したヨシ原 (R3.9)

### 3. 着実な維持管理【維持管理】

(1) 治水機能を維持し、安心して快適な河川の利用を支える日常的な維持管理を行っています。

●堤防の健全性を点検

日常の河川パトロールだけでなく、堤防の除草を行い堤防の亀裂や法崩れ、漏水などの異常箇所やゴミ・流木等を早期に発見するため堤防点検を実施します。

・令和4年度の実施内容

- ⑤ 豊川上流部堤防維持管理修繕工事
- ⑥ 豊川下流部堤防維持管理修繕工事



河川巡視の状況



堤防点検の状況



除草作業状況

(2) 老朽化した河川管理施設の補修

●事業の目的

豊川及び豊川放水路の機能を確保するため、老朽化した河川管理施設の補修等を実施します。

・令和4年度の実施内容

- ⑤ 豊川上流部堤防維持管理修繕工事
- ⑥ 豊川下流部堤防維持管理修繕工事



堤防天端の補修状況



石積みの補修状況

●排水機場設備修繕

内水排除の機能を確保するため、計画的に維持管理し、老朽化したポンプ設備の長寿命化を実施します。

●令和4年度の実施内容

⑦豊橋河川管内排水機場設備修繕工事



小坂井排水機場



ポンプ設備分解整備

(3) 河道内の樹木伐採

洪水時の水位上昇、堤防沿の高速流の発生など、治水上の支障とならないよう河道内の樹木伐採を計画的に行っています。

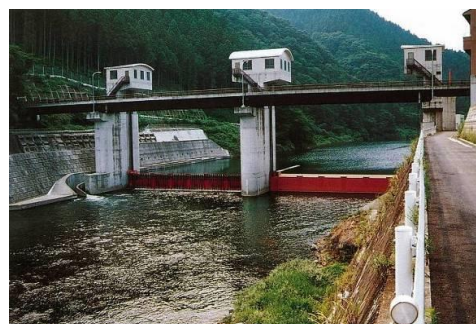


樹木伐採状況（令和3年度 新城市石田地区）

(4) 流水の正常な機能維持と増進

●寒狭川堰

寒狭川堰・寒狭川導水路により、不特定容量を確保するとともに、寒狭川堰下流及び宇連川の大野頭首工下流の流水の正常な機能の維持と増進を図っています。

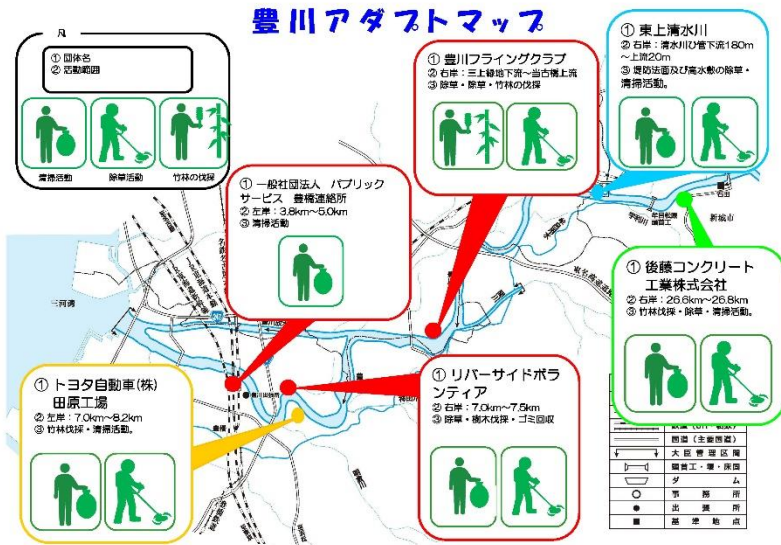


寒狭川堰  
（平成14年度 完成）

## (5) 地域と協働した効率的な河川管理の推進

### ●住民参加型の河川管理

豊川アダプトの登録団体をはじめ、流域の皆様や企業の協力体制のもと、河川敷のゴミ清掃や草刈などを実施しています。



豊川アダプトの登録状況



豊川アダプト【トヨタ自動車 田原工場】による竹の伐採活動（豊橋市牛川）

### ●流域内での資源循環

資源の有効利用の観点から、堤防除草で発生する刈草を堆肥などに活用する希望者を募り、配布しています。

また、伐採した河川内樹木についても、希望者を募り、配布しています。



伐木の希望者への無料配付

### ●出水期前の点検・訓練

河川の出水（増水）が集中する時期に入る前に、河川内に許可を受け設置されている施設の現地点検を、施設管理者と合同で行います。

河川内の運動場や公園では、出水で流出する恐れがある施設の撤去訓練を行い、出水時の万全の体制に努めます。



河川内公園のトイレ撤去搬出訓練

## (6) 豊川放水路の操作、維持管理

豊川放水路は、豊川流域の洪水被害を軽減する手段として建設された人口河川であり、分流堰で洪水の分派を行います。昭和40年の完成以降、分流堰のゲート操作を57年間で249回実施し、豊川中下流域の洪水被害軽減に効果を発揮してきました。

### ●豊川放水路分流堰の操作

分流堰のゲート操作は、隣接の管理所により行います。

操作を開始する前には、警報掲示板や警報サイレンで周囲への注意喚起を行うと共に、河口よりパトロールを実施し、安全確認を行った上で操作をしています。

分流堰のゲートは、操作開始から約1時間40分で全開します。



管理所での操作



正岡警報表示板



洪水の分派状況

### ●豊川放水路の維持管理

老朽化した河川管理施設の補修等を実施し、豊川放水路の機能維持に努めています。



堤防のコンクリート護岸の補修状況



分流堰ゲートの修繕状況

# 4. 災害・事故に対する危機管理体制の強化

## 【防災・減災、地域支援】

### (1) 災害・事故に対する危機管理体制の強化

#### ●洪水に対する危機管理

洪水時は、情報の収集、河川巡視などを行い、関係機関に情報提供を行います。

#### ●水質事故に対する危機管理

豊川・矢作川水系水質汚濁対策連絡協議会の関係機関と連携し、被害の防止・軽減に努めます。



水質事故対策実技講習

#### ●平常時からの備え

災害対策用車両を配備し、災害に備えます。

- ・排水ポンプ車 4台
- ・照明車 2台
- ・災害対策本部車 1台

普段からこれら車両の操作訓練等を実施し出動に備えています。また、津波被害を軽減するため、河川の堤防に海拔情報を表示するなどの啓発活動にも取り組んでいます。



排水ポンプ車操作訓練

### (2) 被災している地域への支援

大規模災害により被災した自治体に、職員や災害対策用車両を派遣し、活動を支援します。



平成30年7月豪雨被災地支援  
(岡山県倉敷市真備町 平成30年7月)



湛水被害時における支援状況  
(排水ポンプ車による排水活動 豊川市 善光寺川 平成27年9月)

# 5. 流域全体で水害を軽減させる治水対策

## 【流域治水】

●近年の激甚化・頻発化する水害に備え、豊川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進することを目的として、「豊川流域治水協議会」を設置し取り組みを進めています。令和3年度は、グリーンインフラの取り組みを加えるなど、流域治水プロジェクトを刷新しました。



「流域治水」の施策のイメージ

### 豊川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～日本の東西をつなぐ「交通の要衝」を水害から守る流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、豊川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 豊川流域は産業経済の根幹をなす交通の要衝であり、無堤区間のある霞堤地区を有するなど水害リスクが高い流域であることから、霞堤対策や浸水リスクが高い地域の「安全なまちづくり」に向けた立地適正化計画の推進、霞堤地区浸水被害軽減対策計画等のソフト対策の整備を実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、戦後最大の昭和44年8月洪水と同規模の洪水に対し、破堤等による甚大な被害を防止するとともに流域における浸水被害の軽減を図る。

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、樹木伐採、緊急浸深推進事業
- ・霞堤対策(小堤、支川背水対策)4箇所
- ・設楽ダム建設
- ・放水路の機能保全・最大活用検討
- ・流出抑制対策(利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築、下水道(雨水)整備、砂防関係施設整備、流域貯留池事業、治山施設の整備、森林の間伐、森林整備・保全等)



● 被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」にむけた取組(立地適正化計画、土地利用規制/誘導(災害高危険区域等))



● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・被害軽減対策(排水作業準備計画の検証、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進、避難場所や経路に関する情報周知、土砂災害警戒区域等の指定・周知)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取り組み(「みずから守るプログラム」の普及促進、防災講座・防災訓練、ハザードマップの作成・周知、住民の水害リスクに対する理解促進の取組、洪水ラッシュ型情報配信、水害リスクイン配信、土砂災害リスク情報の現地表示、浸水予想図作成等)
- ・ソフト対策のための整備(霞堤地区浸水被害軽減対策計画、水害リスクの高い区間の監視体制の整備、水害リスク空白域の解消等)



● グリーンインフラの取り組み 次ページ



※水匠管理区間以外は、県・市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。  
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



\* 詳細は、豊橋河川事務所HP内「豊川流域治水協議会」をご覧ください。  
<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kaigi/toyogawaryuikichisui/index.html>



## ■「第5回 豊川流域治水協議会」

日時：令和4年3月7日（月） 会場：WEB開催

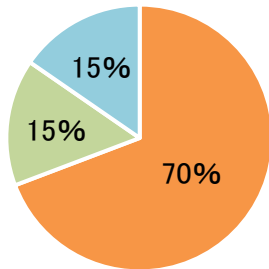
令和3年度の関係者の取り組み内容を相互に確認すると共に、新たな考え方を追加するなど、更なる「流域治水」の発展に向けて意見交換と取り組みの共有を行いました。



豊川流域治水協議会 開催状況(web)

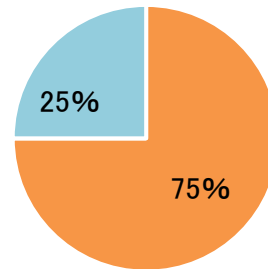
### 流域治水対策の取組状況

#### 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



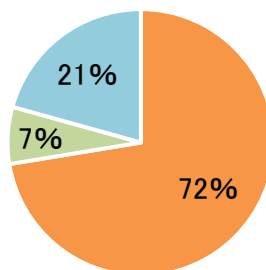
■ 1.着手済み ■ 2.検討中 ■ 3.未着手

#### 被害対象を減少させるための対策



■ 1.着手済み ■ 2.検討中 ■ 3.未着手

#### 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



■ 1.着手済み ■ 2.検討中 ■ 3.未着手

# 6. 地域住民との交流及び地域との連携協力【地域交流・地域連携】

## (1) 地域住民との交流

豊川の治水や河川環境について分かりやすく説明する出前講座や総合学習等への協力など地域交流に取り組んでいます。



豊川放水路分流堰の施設見学会（流域の小学校の社会見学にも対応します）



ショッピングモールでの展示・体験イベント



水難事故防止の啓発活動



災害対策用機械（照明車）の操作体験



学校参観での出前講座

## (2) 地域との連携・協力

豊橋創造大学と豊橋河川事務所は地域の持続的発展をめざし、緊密かつ組織的な連携・協力の推進・強化を図るために協定を締結し、パネル展などを開催しています。

豊橋河川事務所



豊橋創造大学



豊橋創造大学  
豊橋創造短期大学部

豊川

**連携・協力項目**

- 1) 教育・研究及び地域社会への貢献に関すること
- 2) 社会資本整備・維持に関すること
- 3) 防災知識の普及に関すること
- 4) 水辺利用の推進に関すること
- 5) その他、両者が必要と認める事項



VR体験の様子



協定締結(平成30年11月)

CCTVカメラによる遠隔監視、リアルタイムで河川水位や雨量・水質等を常時監視しています。これらの画面や情報は、インターネットを通じて広く提供していますので、是非ご活用下さい。

＊豊橋河川事務所HP内「河川防災情報」をご覧ください。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kasen/>

「公式 Twitter」も発信中 @mlit\_toyohashi

国土交通省 中部地方整備局  
豊橋河川事務所 河川防災情報

---

豊橋河川TOPページ > 河川防災情報TOPページ

中部地方整備局豊橋河川事務所が提供する豊川・矢作川の画像、水位、雨量をお送りします。  
下記から局名を選択する方法を選んで下さい。



GoogleMAP選択



リスト選択



総務課  
(0532)48-2111  
経理課  
(0532)48-8101  
工務課  
(0532)48-8103  
調査課  
(0532)48-8107  
管理課  
(0532)48-8105

豊川流域治水出張所（旧 豊川出張所）  
〒440-0071 豊橋市北島町字北島364  
TEL (0532) 52-8098  
一宮庁舎（旧 一宮出張所）  
〒441-1201 豊川市東上町松本254-2  
TEL (0533) 93-2215  
岡崎出張所  
〒444-2136 岡崎市上里2-8-12  
TEL (0564) 22-1564  
安城出張所  
〒444-1164 安城市藤井町南居林18-2  
TEL (0566) 99-0402

※令和4年4月、豊川出張所と一宮出張所は統合され、豊川流域治水出張所  
となりました。電話番号は豊川出張所と変わりません。  
なお、一宮出張所は、引き続き「一宮庁舎」となります。

## 国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所

〒441-8149 豊橋市中野町字平西1-6 TEL (0532) 48-2111 (代表) FAX (0532) 48-8100  
<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/> E-mail: [cbr-toyohashi@mlit.go.jp](mailto:cbr-toyohashi@mlit.go.jp)